

平成 27 年度医学部看護学科・医学系研究科看護学専攻自己点検評価書

項 目	取組内容（成果、課題など）	根拠資料	
基準 4 学生の受入 4-1 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）が明確に定められ、それに沿って、適切な学生の受入が実施されていること。 4-2 実入学者数が入学定員と比較して適正な数となっていること。	入学者選抜の改善に繋がった取組 ○平成 27 年度の看護学科入学者数は、80 名で定員の 1.0 倍（3 年次編入学の定員 10 名を除く）で適切であった。看護学専攻の入学者数は、9 名で定員の 1.1 倍で適切であった。 ○看護学科の平成 28 年度入試状況は、社会人特別選抜（2.3 倍）を除くすべての選抜で 3 倍を上回っていた。看護学専攻は、二次募集まで実施し、定員 8 名のところ、5 名が受験し、欠格事項に照らし合わせた結果、4 名が合格した。	資料 1：入学定員の充足率 資料 2：平成 28 年度医学部看護学科入試選抜概況	医学部看護学科・医学系研究科看護学専攻の取り組み（ポンチ絵）
基準 5 教育内容及び方法 5-2 教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等が整備されていること。（学士課程） 5-5 教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等（研究・論文指導を含む。）が整備されていること。（大学院課程）	単位の実質化を図るための取組 ○各分野における看護学演習科目においては、問題解決能力（患者の抱える問題を解決する力）の基礎を養うためにグループワークを積極的に取り入れた。 ○看護学教育の専門科目（87 単位）のうち 4 分の 1 は実習科目（23 単位）であり、学生は少人数のグループでさまざまな体験をする。グループごとに教員も実習に出向き、患者に応じた看護が展開できるよう具体的な指導を実施できる体制をとっている。	資料 3：問題解決能力を養うための各分野の演習の実態 資料 4：平成 27 年度臨地実習と担当者の一覧	
基準 6 学習成果 6-1 教育の目的や養成しようとする人材像に照らして、学生が身に付けるべき知識・技能・態度等について、学習成果が上がっていること。 6-2 卒業（修了）後の進路状況等から判断して、学習成果が上がっていること。	学習成果の向上に繋がった取組 ○授業評価結果から、講義科目よりも演習・実習科目の方が「意欲的な取り組み」「積極的な学習（実習）態度」の自己評価が高くなっていた。「学習内容の理解」についても同様の傾向にあり、5 段階評価で平均が 4 程度となっていた。 ○卒業生の 74 名が看護師・保健師・助産師・養護教諭として就職できている。また、助言教員の助言もあり、就職希望の卒業生の 50%が岐阜県内の医療機関や学校に就職している。 ○平成 27 年度国家試験の合格率は、看護師 98.7%、保健師と助産師は 100%で全国平均を上回った。 ○大学院修了生と修了生の上司・同僚に調査した結果で、大学院での学びが現在の仕事に活かされていることが明らかになった。また、全修了生の 61%が教員として活躍している。 ○大学院修了生が平成 27 年度に公表した研究成果は、学会発表 2 件、論文投稿 5 件であった。	資料 5：授業評価結果 資料 6：H27 年度卒業生進路一覧 資料 7：国家試験合格率 資料 8：修了生、同僚・上司評価まとめ	

基準8 教育の内部質保証システム 8-1 教育の状況について点検・評価し、その結果に基づいて教育の質の改善・向上を図るための体制が整備さ、機能していること。 8-2 教員、教育支援者及び教育補助者に対する研修等、教育の質の改善・向上を図るための取組が適切に行われ、機能していること。	教育の質の改善に繋がる取組 ○24年度改正カリキュラムの完成年度にあたり、教育課程上の課題を明確にした ・カリキュラム委員会で、24年度カリキュラムとディプロマポリシーとの整合性を確認し、国際化に関する教育内容が希薄であること、4年英語一貫教育の流れはできたが、開講時期等に課題があることが確認できた。統合実習については、実習委員会が主催して、内容の充実に向け、全分野の教員参加のもと報告会を行った。 ○授業終了時に学生による授業評価を実施し、結果やリフレクションペーパーを全教員で共有した。 ○実習協議会において、実習施設の指導者に看護学科の現状と育成する学生像を伝え、実習開始前と終了後に会議を行い、連携した実習指導が行えるようにした。 ○「現代の若者気質と大学教育」のテーマでFDを開催した。	資料9：ディプロマポリシーと各科目の教授内容の関連 資料10：英語に関する学生アンケート結果 資料11：英語担当教員の評価（カリキュラム委員会議事録一部） 資料12：統合実習報告会レジュメ 資料13：統合実習報告会資料 資料14：リフレクションペーパー 資料15：FDアンケート結果	
--	--	--	--



附属病院

他の病院・進学

(大学院・助産師学校)

就職者74名の内、
岐阜県内就職者は50%

進学者2名

平成27年度
国家試験合格率

- ・看護師97.8%
- ・保健師100%
- ・助産師100%

アドミッション
ポリシー

人物像(面接)を
重視した入試

入学後の傾向

- ・学習に対して自立と責任を持つ
態度を有していない学部生
- ・英語論文の読解力が弱く、英語
論文に触れない傾向の院生

卒業

卒業時のフィードバック

ディプロマ
ポリシー

修了

講義・演習・実習による学習
(グループ活動を主とした演習・実習)
医療英語Ⅰ～Ⅲの充実

※教養教育の英語1～4との教授内容の連続性確保が課題

平成24年度カリキュラムの完成年度

- ・教育課程上の課題の明確化
- 1. 4年間英語一貫教育
- 2. 選択制とした保健師課程
- 3. 統合実習

学生による授業評価と教員のリフレクション
教育の質向上のためのFD実施

見直した大学院の学位論文審査方法の実施(単位の実質化)

当看護学科の教員、
大学や短期大学、専
門学校の教員として
修了生の61%が活躍

在学中の研究結果の
公表(学会発表・論文
投稿)